



# 2020年度 第1四半期決算

## *Conference Call*

2020年7月31日  
塩野義製薬株式会社



## 2030年 Vision

# 新たなプラットフォームで ヘルスケアの未来を創り出す

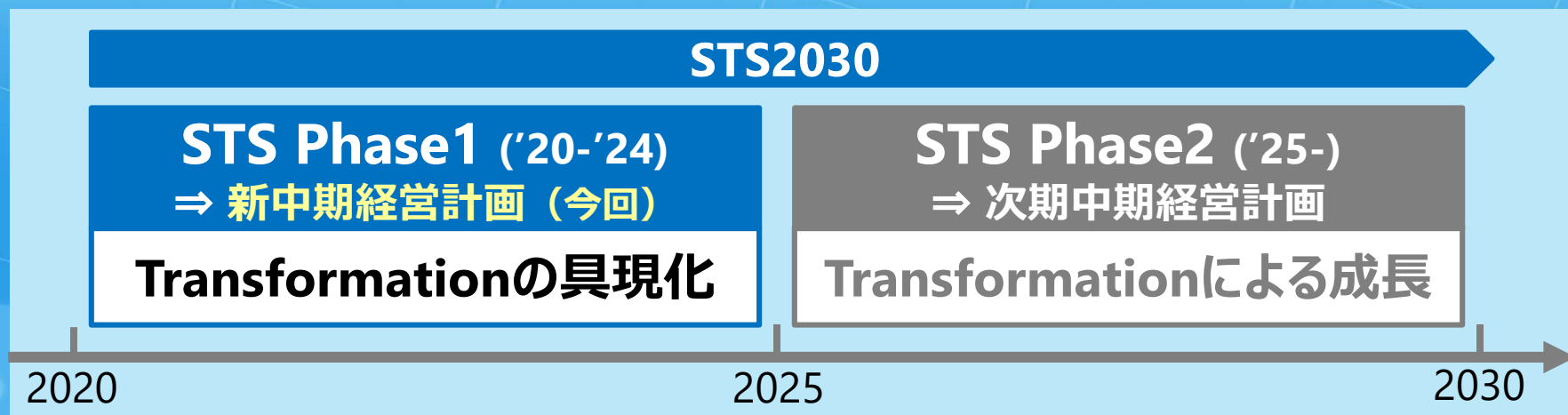
シオノギファミリーが一丸となって

- 創造力と専門性の進化でイノベーションを起こし、プラットフォームを協創する核となる
- 革新的な製品を創製し、適正な品質と価格で、正しい情報と共に世の中に届ける
- SDGsの達成に取り組み、誰もが病気や苦しみに困らない日々の実現に貢献する

2030年 Visionを達成するための戦略

# STS2030

- **Shionogi Transformation Strategy 2030** -  
ビジネス変革による新たな成長戦略



## STS Phase1 の基本方針

## トータルヘルスケア企業として 持続的な成長へのTransformationを具現化する

新たな価値創造

### i. R&D戦略



#### 革新的パイプラインの開発促進

- “パテントクリフ2028～”を乗り越えるパイプライン群の開発

### ii. トップライン戦略



#### 多様なビジネス構築による事業の成長

- 海外自販力の強化
- 新たなビジネスモデルによる社会課題の解決
- プラットフォームビジネス基盤作り

基盤構築

### iii. 経営基盤戦略



#### 新たな価値創造を実現するための基盤づくり

- 急速な環境変化にも柔軟に対応できる  
強固な経営基盤を築くための社内の抜本的改革

2020年度

コロナ禍における非常事態対応を生産性向上のための機会ととらえ、成長基盤の強化を推進  
意思決定・行動の刷新による「不連続な進化の創出」×「変革スピード」

- 1. 第1四半期決算の概要 (P.6-13)**
- 2. 第1四半期の取り組みとSTS Phase1の進捗  
(P.14-24)**

# 1. 第1四半期決算の概要

## 2020年度1Qへの影響と対応

### ● サプライチェーン

- シオノギ製販品の原料等の調達、生産、在庫には影響なく、安定供給に支障なし
- 一部の製品で生産の前倒し対応と、海外からの輸入原料の在庫を確保

### ● 情報提供活動

- 医療機関訪問の自粛要請を受け、Web講演会やe-detailによる情報提供を展開
  - > 要請解除後は医療機関のニーズに応じて訪問を一部再開、デジタル施策も引き続き強化
- 疾患戦略の一環として、ヘルスケア戦略本部\*と連携して全MRの疾患全般に関する教育を強化
  - > 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を含む感染症領域、精神・神経・疼痛領域

### ● 研究開発活動

- 最優先プロジェクトである新型コロナウイルス関連の研究開発にリソースを集中
- 注力8プロジェクト\*\*の開発スケジュールに大きな影響なし
- 8プロジェクト以外の一部開発プロジェクトで開発スケジュールに変更あり (3-6カ月程度)\*\*
  - > 試験開始または症例集積で一部遅延

# 連結経営成績



(単位：億円)

	2020年度			対上期 進捗率	2019年度	対前年同期	
	通期 予想	上期 予想	4-6月 実績		4-6月 実績*	UP率	増減額
売上収益	3,235	1,556	<b>714</b>	<b>45.9%</b>	808	△ <b>11.6%</b>	△ <b>94</b>
営業利益	1,103	538	<b>256</b>	<b>47.6%</b>	317	△ <b>19.1%</b>	△ <b>61</b>
コア営業利益**	1,103	538	<b>259</b>	<b>48.0%</b>	319	△ <b>18.8%</b>	△ <b>60</b>
税引前利益	1,363	616	<b>301</b>	<b>48.8%</b>	353	△ <b>14.9%</b>	△ <b>53</b>
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,036	449	<b>215</b>	<b>48.0%</b>	271	△ <b>20.6%</b>	△ <b>56</b>

- **新型コロナウイルスの感染拡大による市場縮小の影響はあるものの、各利益項目は概ね堅調に進捗**
- **STS Phase1の各アクションを迅速に展開**

為替レート (期中平均)	2020年度 前提	2020年度 4-6月実績
ドル	107円	<b>107.64円</b>
ポンド	130円	<b>133.63円</b>
ユーロ	120円	<b>118.59円</b>



# 連結損益計算書



(単位：億円)

	2020年度				2019年度		対前年同期	
	通期 予想	上期 予想	4-6月 実績	対上期 進捗率	4-6月 実績*	UP率 (%)	増減額	
売上収益	3,235	1,556	<b>714</b>	45.9	808	△11.6	△94	
売上原価	17.2 557	16.5 257	16.1 <b>115</b>	44.7	15.7 127	△9.3	△12	
売上総利益	2,678	1,299	<b>599</b>	46.1	681	△12.0	△82	
販売費・一般管理費	32.1 1,037	33.2 516	30.4 <b>217</b>	42.0	29.6 239	△9.2	△22	
研究開発費	15.5 502	14.8 230	17.0 <b>122</b>	52.8	14.5 117	4.2	5	
その他の収益	5	3	<b>1</b>	31.0	1	△43.1	△1	
その他の費用	40	16	<b>5</b>	32.8	10	△48.2	△5	
営業利益	34.1 1,103	34.6 538	35.9 <b>256</b>	47.6	39.2 317	△19.1	△61	
コア営業利益	34.1 1,103	34.6 538	36.2 <b>259</b>	48.0	39.4 319	△18.8	△60	
金融収益	275	84	<b>49</b>	58.2	57	△14.5	△8	
金融費用	16	6	<b>4</b>	73.2	21	△78.2	△16	
税引前利益	42.1 1,363	39.6 616	42.1 <b>301</b>	48.8	43.8 353	△14.9	△53	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,036	449	<b>215</b>	48.0	271	△20.6	△56	

# 事業別売上収益



(単位：億円)

	2020年度				2019年度	対前年同期	
	通期 予想	上期 予想	4-6月 実績	対上期 進捗率 (%)	4-6月 実績*	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,239	531	<b>224</b>	42.1	263	△15.1	△40
海外子会社/輸出	240	113	<b>55</b>	48.5	107	△49.1	△53
シオノギ Inc.	51	26	<b>17</b>	64.1	53	△68.6	△36
C&O	119	57	<b>24</b>	41.4	38	△37.5	△14
製造受託	154	79	<b>29</b>	36.5	24	17.6	4
一般用医薬品	104	49	<b>23</b>	46.5	18	26.1	5
ロイヤリティー収入	1,483	778	<b>380</b>	48.8	389	△2.4	△9
HIVフランチャイズ	1,263	642	<b>310</b>	48.2	317	△2.4	△8
クレストール®	169	111	<b>56</b>	50.0	57	△1.6	△1
その他	52	25	<b>15</b>	60.3	15	△3.6	△1
その他	13	7	<b>4</b>	65.8	5	△17.2	△1
<b>合計</b>	<b>3,235</b>	<b>1,556</b>	<b>714</b>	<b>45.9</b>	<b>808</b>	<b>△11.6</b>	<b>△94</b>

# 国内医療用医薬品売上収益



(単位：億円)

	2020年度				2019年度		対前年同期	
	通期 予想	上期 予想	4-6月 実績	対上期 進捗率 (%)	4-6月 実績*	UP率 (%)	増減額	
サインバルタ <sup>®</sup>	286	139	69	49.8	67	2.9	2	
インチュニブ <sup>®</sup>	167	68	26	38.4	18	42.2	8	
ビバンセ <sup>®</sup>	8	2	0	11.3	-	-**	0	
感染症薬	265	71	21	30.1	36	△40.7	△15	
オキシコンチン <sup>®</sup> 類	56	29	14	47.3	17	△17.3	△3	
スインプロイク <sup>®</sup>	29	13	5	36.6	5	△7.9	△0	
アシテア <sup>®</sup>	3	2	1	36.9	1	3.4	0	
ムルプレタ <sup>®</sup>	1	1	0	42.5	0	△26.3	△0	
ピレスパ <sup>®</sup>	49	29	14	49.6	17	△17.1	△3	
その他	375	177	73	41.1	102	△28.4	△29	
クレストール <sup>®</sup>	83	42	15	37.3	24	△35.3	△8	
イルベタン <sup>®</sup> 類	37	18	8	47.0	12	△30.5	△4	
<b>国内医療用医薬品</b>	<b>1,239</b>	<b>531</b>	<b>224</b>	<b>42.1</b>	<b>263</b>	<b>△15.1</b>	<b>△40</b>	

<感染症薬構成製品>

- ゾフルーザ<sup>®</sup>
- フィニバックス<sup>®</sup>
- セフテム<sup>®</sup>
- バクタ<sup>®</sup>
- イソジン<sup>®</sup>
- ラピアクタ<sup>®</sup>
- フルマリン<sup>®</sup>
- シオマリン<sup>®</sup>
- フラジール<sup>®</sup>
- プライトポック<sup>®</sup>Flu・Neo
- プロモックス<sup>®</sup>
- バンコマイシン
- フルコナゾール

## 対前年同期比較

### ● 売上収益（△94億円）

- 米国：2019年度 Symproic<sup>®</sup>に関するBDSI社からの一時金
- 国内：薬価改定の影響
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内・海外市場の変化
  - > 国内：多くの診療科で外来受診が大幅に減少
  - > 中国：ラベプラゾールの売上減
  - > 米国：ムルプレタの売上減
  - > HIVフランチャイズのロイヤリティー収入の減少
    - = 前四半期のViiV社による市場への前倒し送品の反動
    - = Dovato<sup>®</sup>のシェア拡大が想定より緩やかに推移

### ● 販売費・一般管理費（△22億円）

- 訪問活動の自粛、デジタルを活用した情報提供への変更による費用減
- 中国：ラベプラゾールの売上減に伴う費用減

### ● 研究開発費（5億円）

- 新型コロナウイルス関連プロジェクト、注力8プロジェクトへの積極投資

## 非常事態対応はSTS Phase1での最適なリソース配分を検討する契機 「やめること、加速すること、新たに始めること」の見極めを徹底

- 新型コロナウイルスの感染拡大による医薬品市場の変化を踏まえた上で、最適なリソース配分を検討
- 研究開発活動や経営基盤構築等、2030年ビジョン達成に向け加速すべきものには積極的に投資

### 1Q（試験運用）

with/postコロナにおける市場変化の確認、それを踏まえた活動・働き方の見直しとコストへの影響を調査

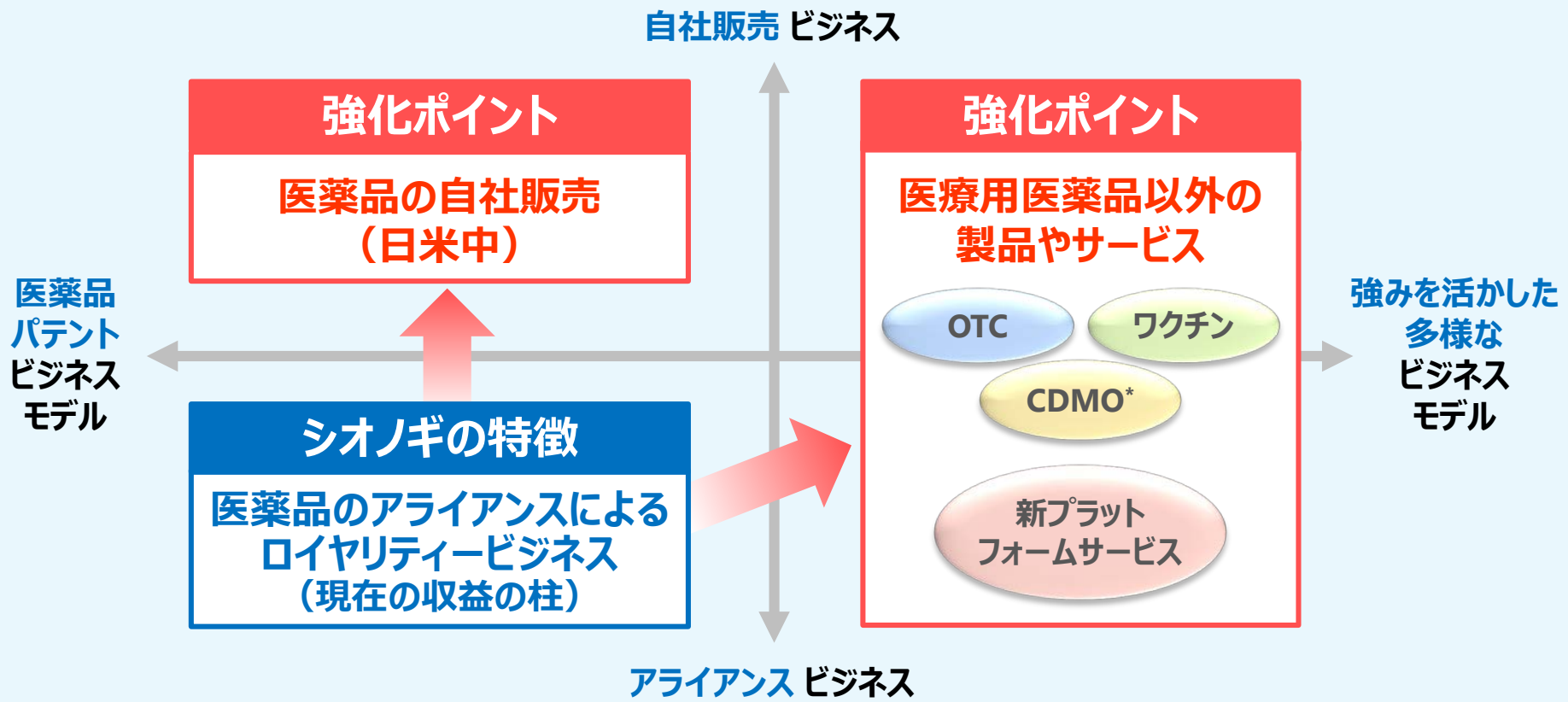


### 2Q（検証→実行）

見直した行動計画を基に適切なリソース配分を再検討、通期業績への影響の見積りと対応を早急に行う

**事業環境変化への対応をスピーディーに展開し、  
STS2030初年度のビジネスプランを達成**

## 2. 第1四半期の取り組みとSTS Phase1の進捗



## 複数の新しいビジネスモデルにより、高利益率と経営基盤の安定を両立

- 自社販売とアライアンスのバランス
- 『パテント活用ビジネス』と『強みを活かしたパテント以外のビジネス』のバランス

# R&D戦略： 新型コロナウイルス感染症に関する取り組み 1/2



## 治療薬の創製

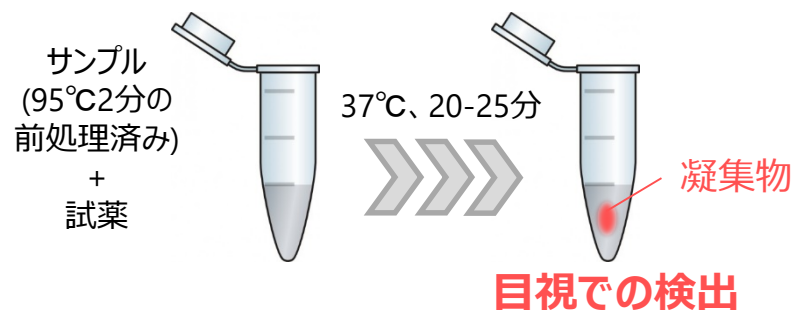
- 北海道大学および国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所と連携し、AMED\*の研究助成金を活用
- 2020年度内の臨床試験開始を目指し、開発候補品の選定に向けた評価が進行中

## 検査/診断キットの提供

- IgG/IgM抗体検出キットを研究用試薬として発売（2020年6月3日）
- **SATIC\*\*法による迅速診断の実用化**に向けて国内3大学\*\*\*と提携
  - 2020年9月の提供開始を目指し、体外診断用医薬品としての承認申請準備、製品化検討を実施中
  - より簡便かつ多検体の迅速診断を可能とする改良型（キット）の早期提供に向けて、製品開発ならびに生産のスケールアップ検討を加速する

### 迅速診断（SATIC法）の特徴

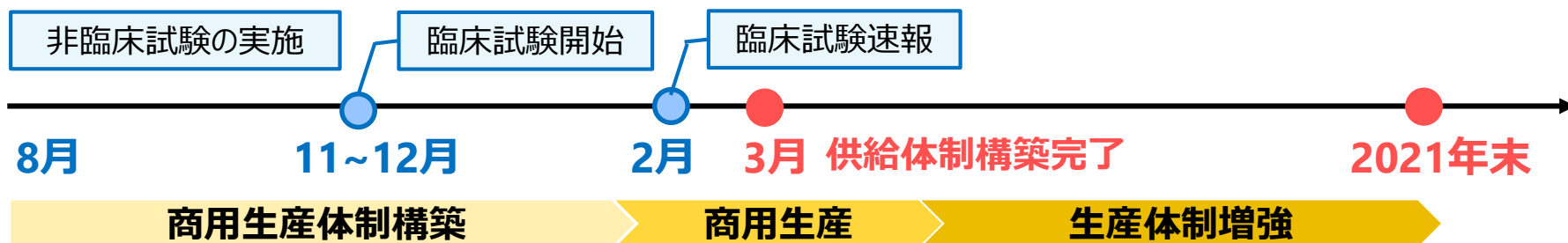
PCR法と同等の 検出感度を期待	検出機器を必要とせず 目視で判定可能
採取容易なサンプル （唾液や喀痰） からの検出が可能	25分程度で判定可能





### 予防ワクチンの開発

- 国立感染症研究所、九州大学と協働し、シオノギ主導で組換えタンパクワクチンを開発中
- 2020年内の臨床試験開始に向け、非臨床試験および抗原候補の製法検討を実施中
  - 抗原候補およびアジュバント候補の選定に向けた免疫原性試験が進行中
  - AMEDの研究助成金を活用
- UNIGEN社 (原薬製造)、アピ社 (製剤製造) と連携し、**2020年度内に第一期の生産体制を構築**
  - 経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」を活用
  - さらなる設備投資を検討中 (2021年末：3,000万人分以上の確保を目標)

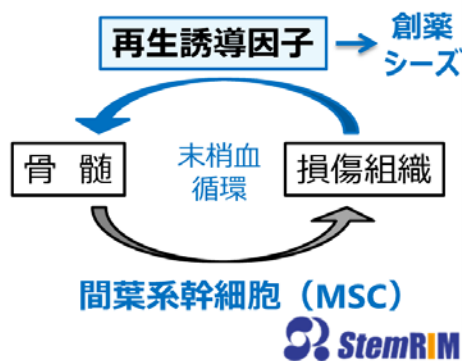


## 新型コロナウイルス感染症に対するトータルケアの提供と、 ワクチン事業への本格参入によるビジネスモデルの拡大

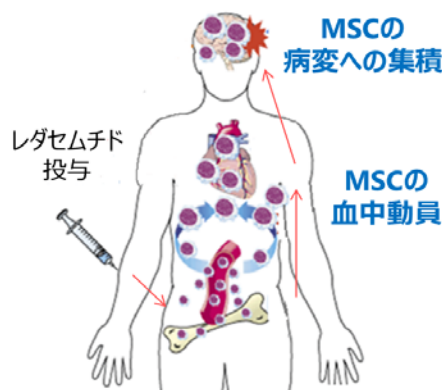
## 再生医療のパラダイムを変える

### 組織再生促進メカニズム

アカデミアとベンチャーの共同研究から  
見出された生体内自己再生メカニズム



### レダセムチドの想定作用



### ステムリム社との新たな契約締結 (2020年6月30日)

ステムリム社がこれまでに複数のアカデミア・グループとの共同研究で蓄積してきた非臨床研究のエビデンスを活用し、新たに3つの疾患の医師主導治験を推進

### 新たに医師主導治験を進める3疾患

#### 表皮水疱症

医師主導治験で  
有効性を確認

申請準備中

#### 急性期脳梗塞

Phase 2 実施中

非臨床試験：梗塞6時間後の  
投与で薬効

#### 変形性膝関節症

医師主導治験  
準備中

2020年内開始予定

#### 慢性肝疾患

#### 心筋症

医師主導  
治験  
実施予定

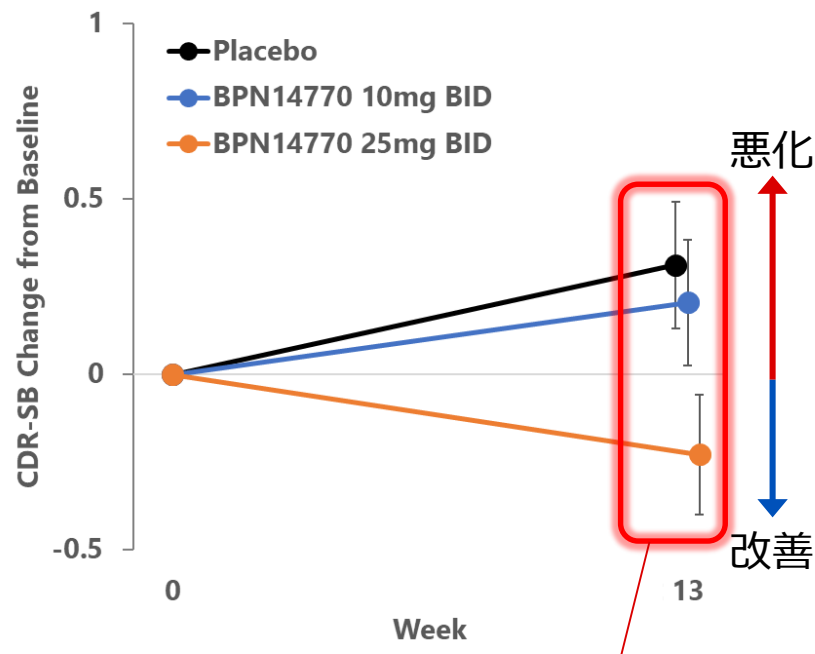
## 化合物の価値を最大化するLCM\*戦略が順調に進捗

## 認知機能改善薬BPN14770の価値最大化に向けて

- 早期アルツハイマー型認知症患者を対象とした米国Phase 2試験結果\*
  - 有効性：認知機能改善傾向を確認
  - 安全性：嘔吐を含め問題となる副作用は見られず
- BPN14770およびTetra社が現在保有する全化合物のグローバルにおける権利
- Tetra社の持つ中枢神経系の創薬ノウハウ

**Tetra社を完全子会社化**  
(2020年5月26日)

CDR-SB (臨床全般)  $\geq 3.5$  (中央値)



	Change from Baseline at week 13	vs. Placebo
Placebo	0.312	
10mg	0.204	-0.11 (p=0.668)
25mg	-0.228	-0.54 (p=0.0295)

## デジタル治療用アプリの進捗（シオノギ: SDT-001、Akili社: AKL-T01）

- シオノギ：
  - 従来の医薬品化合物とは異なる新たな治療選択肢
    - > 6歳～17歳のADHD患者を対象に国内Phase 2試験を実施中
- 米国Akili社：
  - 小児ADHD患者の不注意症状に対する世界初のゲームベースのデジタル治療
    - > 米国：承認取得、欧州：CEマーク\*取得



疾患認知から治療・社会活動までトータルでサポートし、  
患者が抱える生きづらさからの解放と、社会生産性の向上へ貢献

# トップライン戦略 (国内) : ヘルスケア戦略本部と医薬事業本部の連携



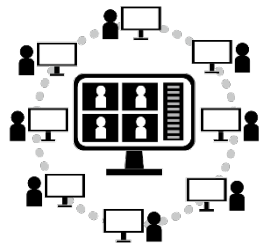
深い製品知識

両本部の連携

医師のニーズの分析

幅広い疾患知識

KOL\*によるWeb講演会  
(効果的な情報発信)



医師との双方向コミュニケーション  
(対面、Web)



e-ディテール  
(網羅的な情報発信)



製品軸×疾患軸の情報提供によるディテールの進化  
Web活用による1 on 1面談機会の創出



疾患理解・処方意欲

# トップライン戦略 (海外) : 中国平安保険 (集団) 股份有限公司との合併会社設立



## 合併会社 (JV) 2社を含むグループ会社3社を設立\*し、本格的に始動開始

- 2020年7月：塩野義 (香港) 有限公司設立
- 2020年8月：合併会社「平安塩野義有限公司\*\*」設立予定
- 2020年8月：合併会社「平安塩野義 (香港) 有限公司\*\*」設立予定

	平安塩野義有限公司	平安塩野義 (香港) 有限公司
董事長兼CEO	シオノギ	シオノギ
Directors of the Board / 董事	・シオノギ3名 (董事長含む) ・平安2名	・シオノギ3名 (董事長含む) ・平安2名

## シオノギ製品/パイプラインのJVへの投入

C&Oの高品質な  
ジェネリック医薬品  
(2020年度～)

シオノギヘルスケアの  
日本ブランド製品  
(2020年度～)

自社創薬アセット  
Cefiderocol  
Naldemedine  
新型コロナウイルス感染症関連 等  
(2022年度以降)

2020年度から売上収益に貢献

自社開発品の中国展開

# トップライン戦略 (海外) : 中国平安保険 (集団) 股份有限公司との合併会社設立



RWD\*活用によるアンメットニーズに応える創薬とGood Doctorとの協業により、  
個々人に最適なヘルスケアソリューションを提供

## 診察時の動画

- ✓ 音声
- ✓ 動作
- ✓ 姿勢



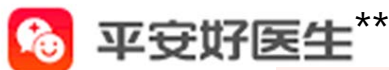
## スマートシティ・自宅での行動

- ✓ 生活パターン
- ✓ 歩行量・速度
- ✓ 睡眠の質や量

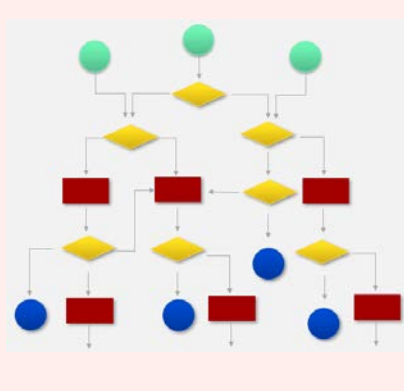


## RWDの活用

- 既存品、自社創薬アセットの投入
- 自社品以外のアセット導入も積極化



## 診断アルゴリズム



(OTC)

最適な薬  
がない

個々人に最適な  
ヘルスケアソリューションを提供

## RWD活用によるR&Dシナジー

アンメットニーズの抽出から、  
新たな創薬研究、  
ヘルスケアソリューション創出へ

# ViiV社によるHIVフランチャイズの進展



## シオノギのコミットメント

- 次世代HIV治療の柱となる経口2剤配合剤
- 持続性注射剤のBest in classの創製
- HIV感染症根治への挑戦

2020年～

「毎日」から  
「毎月・隔月」へ

「根治」へ

 **CABENUVA**<sup>\*</sup> (CAB/RPV<sup>\*\*</sup>)

初の持続性注射剤

- 2020年7月：米国で再申請 (1回/月投与)  
→ 2021年1-3月に上市予定

2021年～

「治療」から「予防」  
への拡大

2019年

 **Dovato**

「3剤」から「2剤」へ

 **Juluca**

2017年

 **Triumeq**  
 **Tivicay**

2013年

**CAB予防**

初の持続性注射剤による予防適応

- HPTN 083試験：  
**FTC/TDF<sup>\*\*\*</sup>を66%上回る有意な予防効果  
⇒DSMB<sup>\*\*\*\*</sup>より早期終了勧告**





# Appendix



## 必要な製品・情報を益々多くの人に届ける仕組みづくり

➤ バリューチェーン横断・顧客視点・エビデンス重視・データ駆動



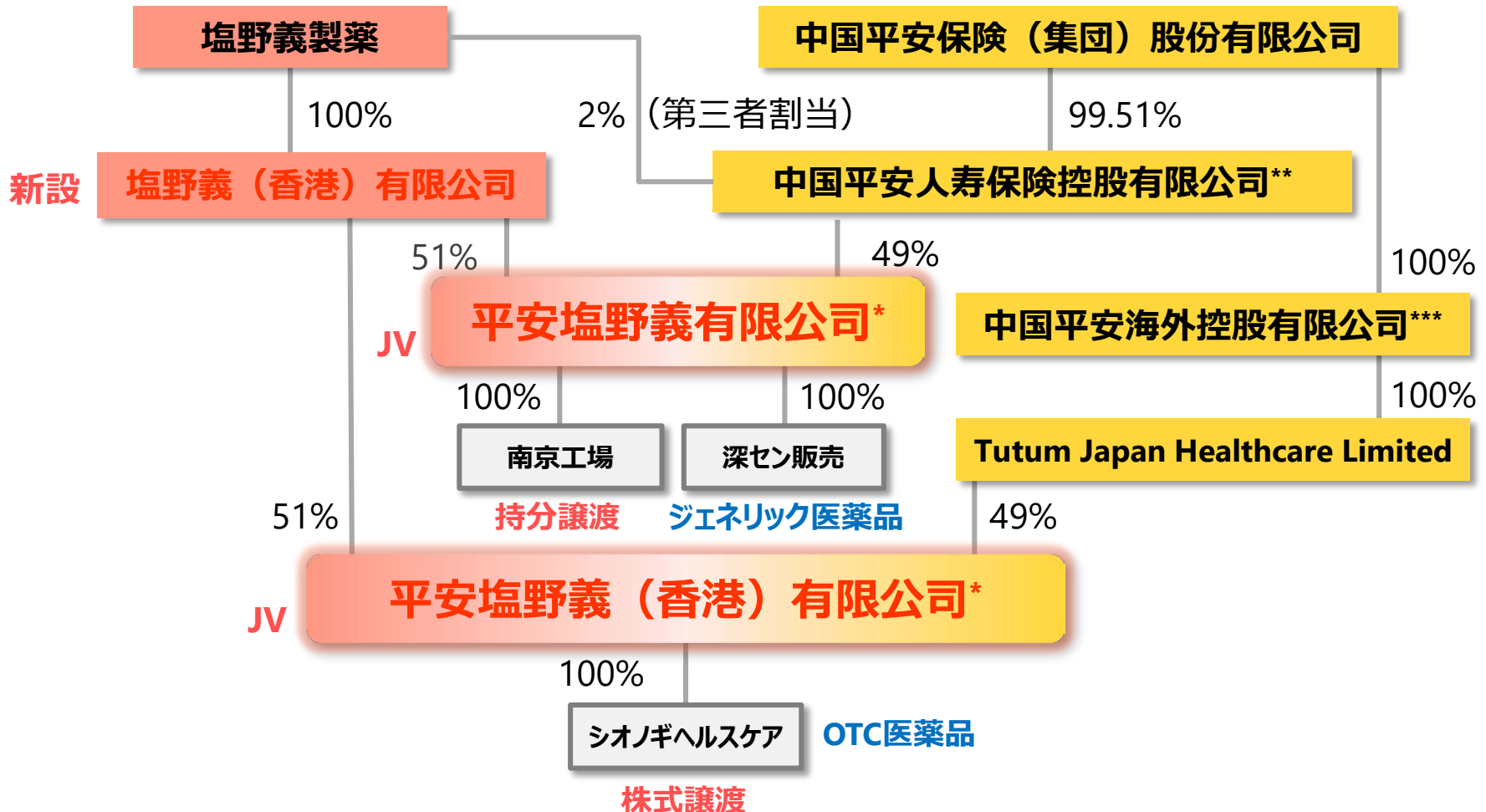


## アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する製品・サービスを創出

# トップライン戦略 (海外) : 中国平安保険 (集団) 股份有限公司との合併会社設立



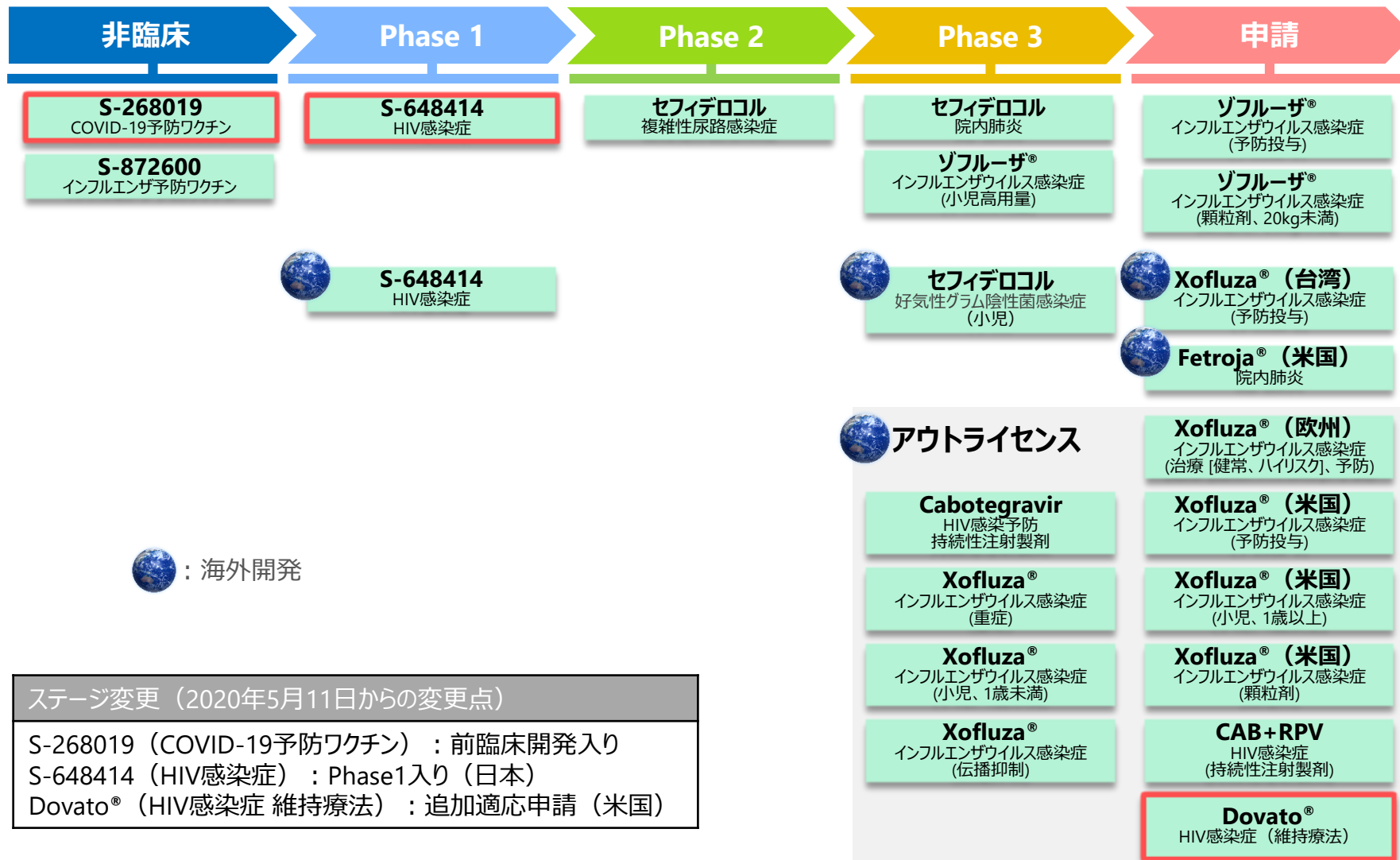
## 合併会社の資本関係



# 開発パイプラインの状況：感染症



2020年7月31日現在



 : 海外開発

ステージ変更 (2020年5月11日からの変更点)

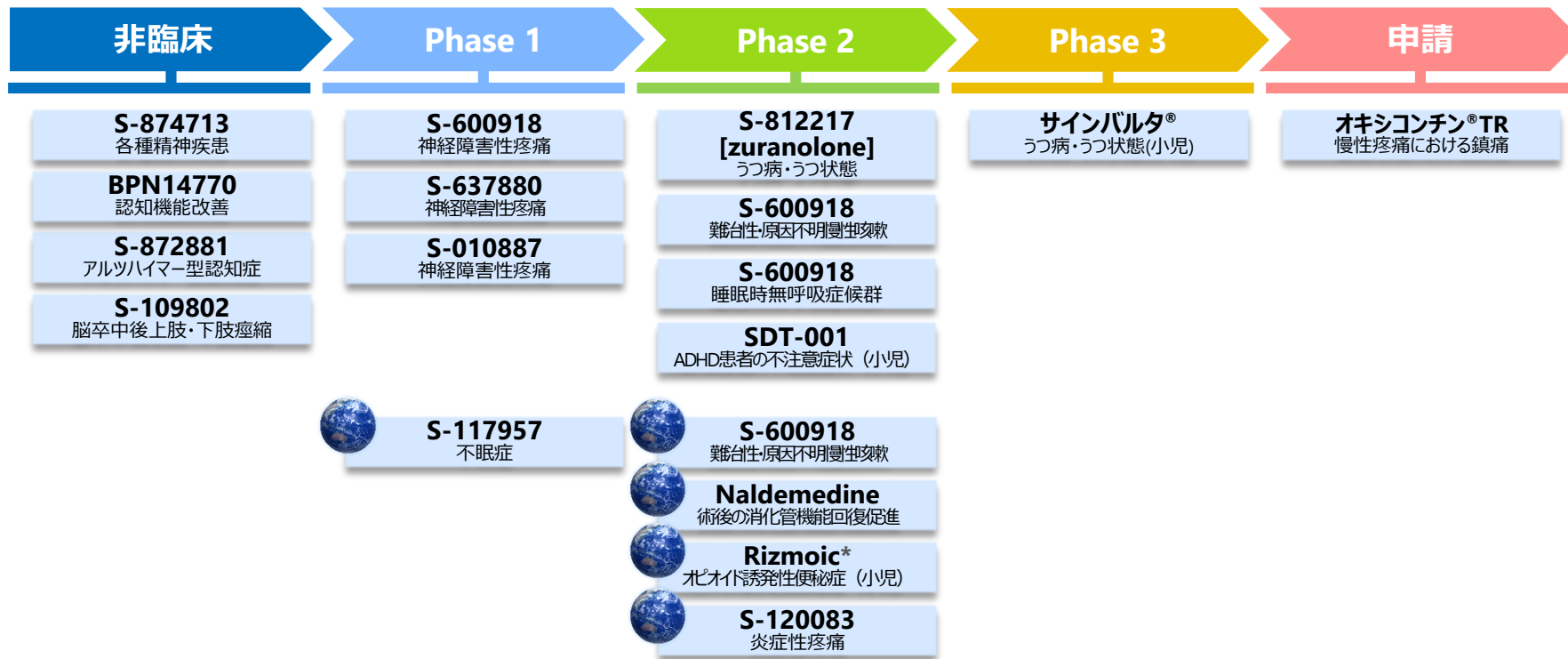
S-268019 (COVID-19予防ワクチン) : 前臨床開発入り  
 S-648414 (HIV感染症) : Phase1入り (日本)  
 Dovato® (HIV感染症 維持療法) : 追加適応申請 (米国)

 : 2020年5月12日～2020年7月31日の変更

# 開発パイプラインの状況：精神・神経



2020年7月31日現在

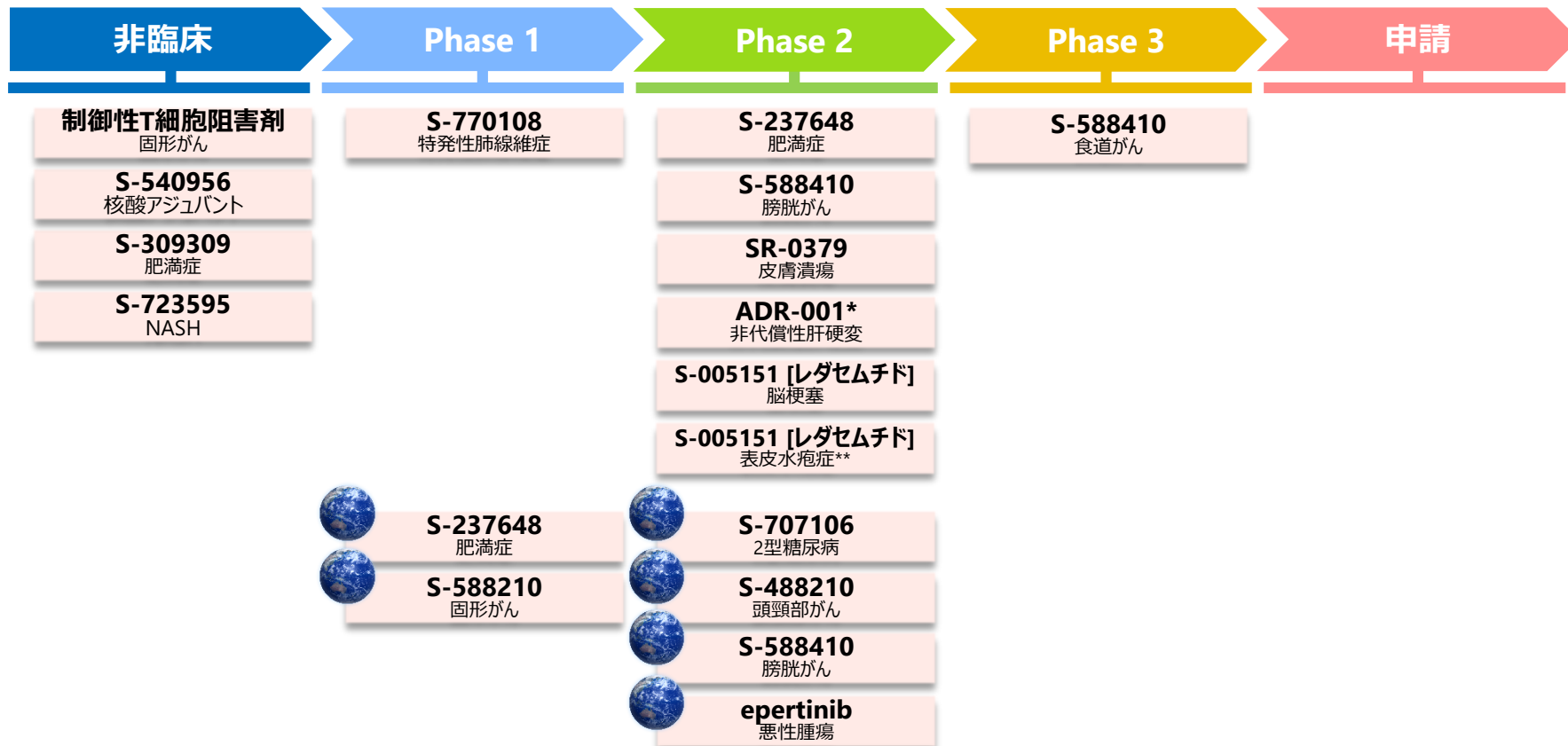



 : 海外開発

# 開発パイプラインの状況：新たな成長領域



2020年7月31日現在



 : 海外開発

# 2020年度の開発品予定

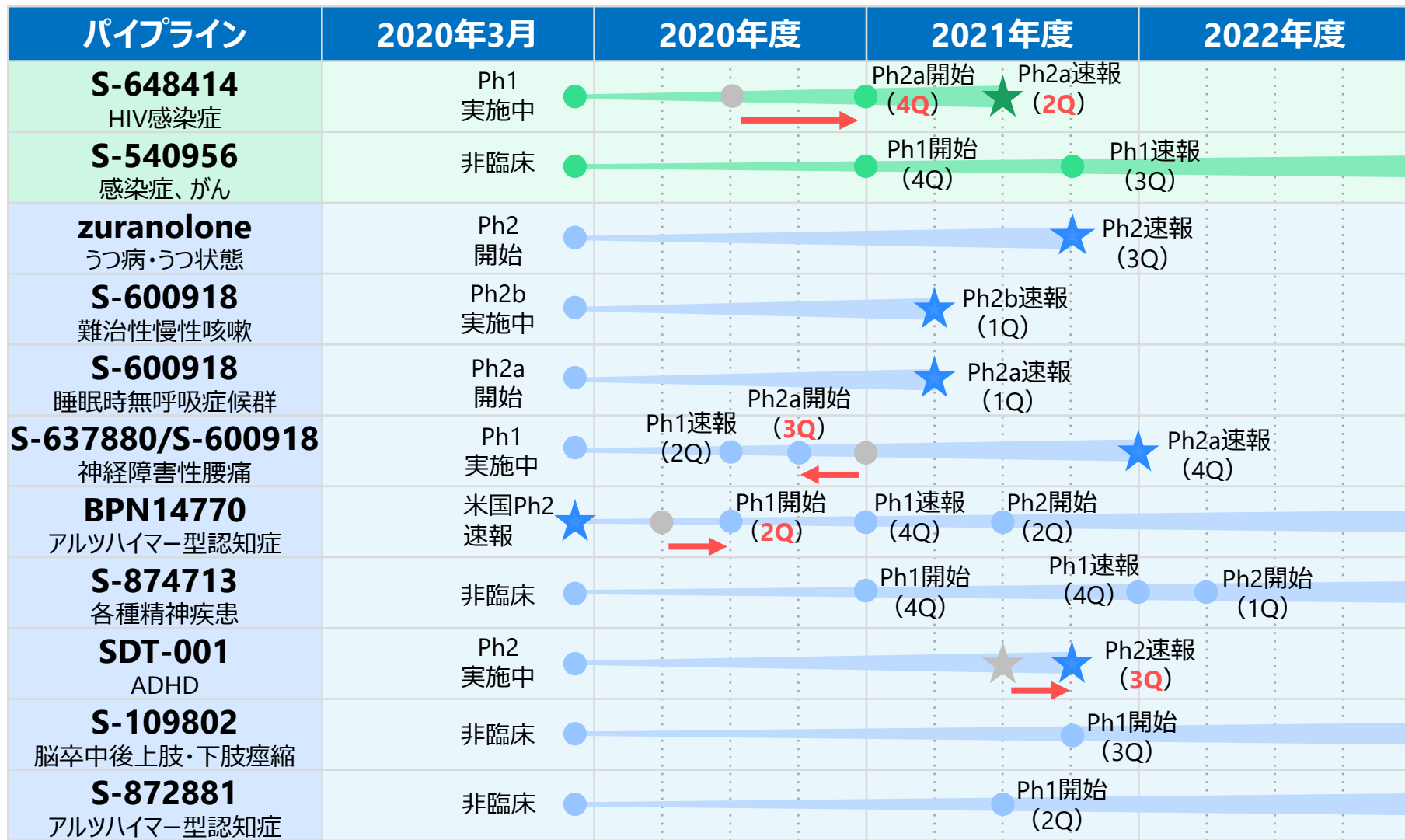


Phase	パイプライン	適応	マイルストーン	✓ : 達成
申請～承認	Fetroja <sup>®</sup> (cefiderocol)	グラム陰性菌による院内肺炎*	米国：追加適応承認	
	Fetroja <sup>®</sup> (cefiderocol)	好気性グラム陰性菌感染症*	欧州：承認 ✓	
	ゾフルーザ <sup>®</sup> 顆粒剤	インフルエンザウイルス感染症 (小児、体重20kg未満)	日本：追加適応承認	
	ゾフルーザ <sup>®</sup>	インフルエンザウイルス感染症 (予防)	日本：追加適応承認	
	オキシコンチン <sup>®</sup> TR	慢性疼痛における鎮痛	日本：追加適応承認	
	サインバルタ <sup>®</sup>	うつ病・うつ状態 (小児)	日本：申請	
Phase 1～3	S-637880	神経障害性疼痛	日本：Phase 1反復投与試験完了	
	S-600918/S-637880	神経障害性腰痛	日本：Phase 2 (PoC試験)開始	
	S-648414	HIV感染症	米国：Phase 2 (PoC試験)開始	
	S-770108	特発性肺線維症	英国：肺沈着試験開始	
	S-540956	HIV感染症、がん	Phase 1試験開始 (地域未定)	
	S-874713	各種精神疾患	日本：Phase 1試験開始	
	BPN14770	アルツハイマー型認知症	日本：Phase 1試験開始	
	S-723595	非アルコール性脂肪肝炎	日本：Phase 1試験開始	



# 主なパイプラインのキーイベント（予定）

2020年7月31日現在

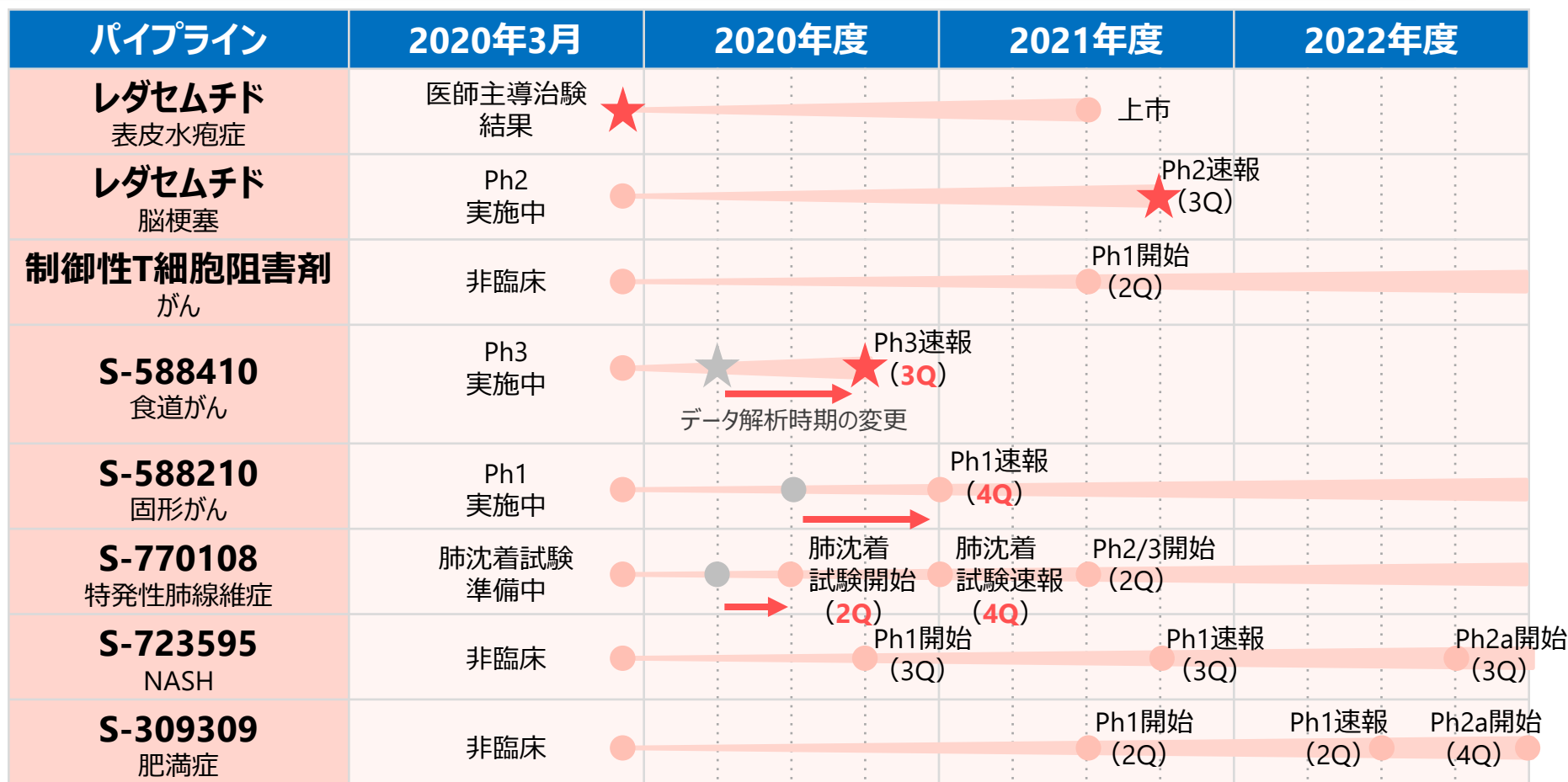


★ Ph2あるいはPh3結果速報入手（結果開示時期・方法は別途検討）

➡ : 2019年度R&D説明会（2020年3月19日）からの変更

# 主なパイプラインのキーイベント（予定）

2020年7月31日現在



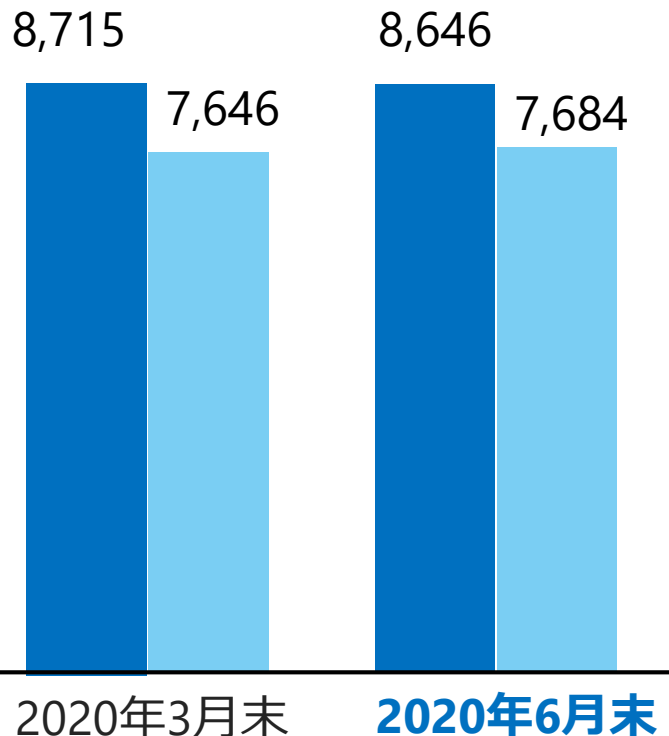
★ Ph2あるいはPh3結果速報入手（結果開示時期・方法は別途検討）

# 財政状態（連結、IFRS）



■ 資産 ■ 親会社の所有者に帰属する持分

(単位：億円)



単位：億円		2020年 3月末	2020年 6月末	増減額
資産	非流動資産	3,555	3,681	126
	流動資産	5,160	4,965	△195
親会社の所有者に帰属する持分		7,646	7,684	39
負債	非流動負債	258	251	△7
	流動負債	811	710	△101

	2020年 3月末	2020年 6月末
親会社所有者 帰属持分比率	87.7%	<b>88.9%</b>

# Cabotegravir 予防試験 (HPTN 083)



2020年7月9日、ViiV社カンファレンスコール資料より抜粋

## THE PREP LANDSCAPE WORLDWIDE

- 200,000 people currently taking PrEP in US
- US Government believes 1.2 million could benefit
- Circa 500,000 MSM in Europe could benefit from PrEP but barriers to access remain high
- In Africa HIV infections are growing among adolescent girls and young women who could benefit from PrEP
- Some people express dissatisfaction at taking daily PrEP pills as reinforcing self stigma
- CAB LA could present a new option, dosed every two months

**US market value**

Circa \$2bn today  
and growing

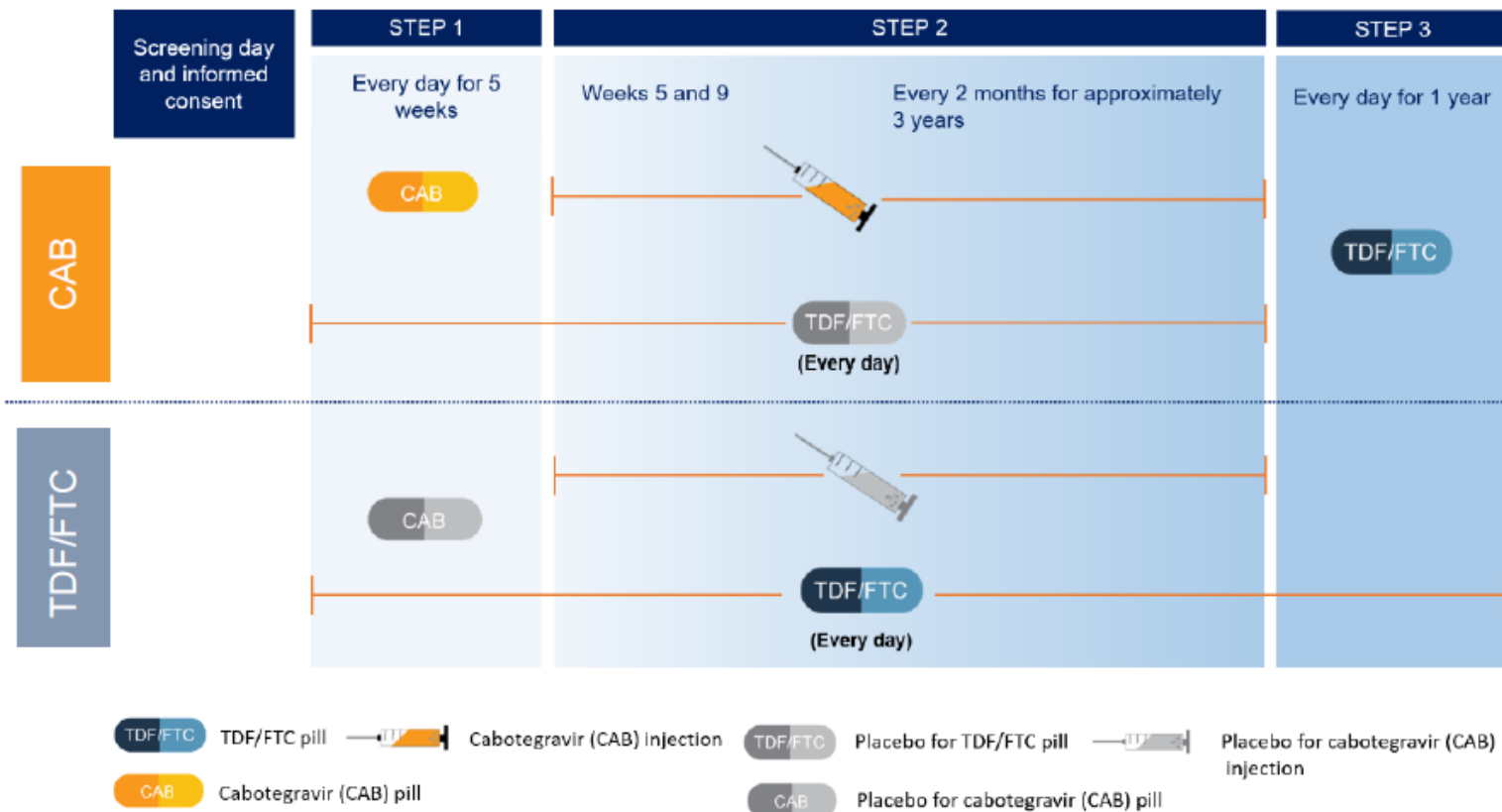
# Cabotegravir 予防試験 試験デザイン



2020年7月9日、ViiV社カンファレンスコール資料より抜粋



## HPTN 083 STUDY DESIGN



Landovitz RJ et al. AIDS 2020, #OAXLB01

# Cabotegravir 予防試験 有効性データ

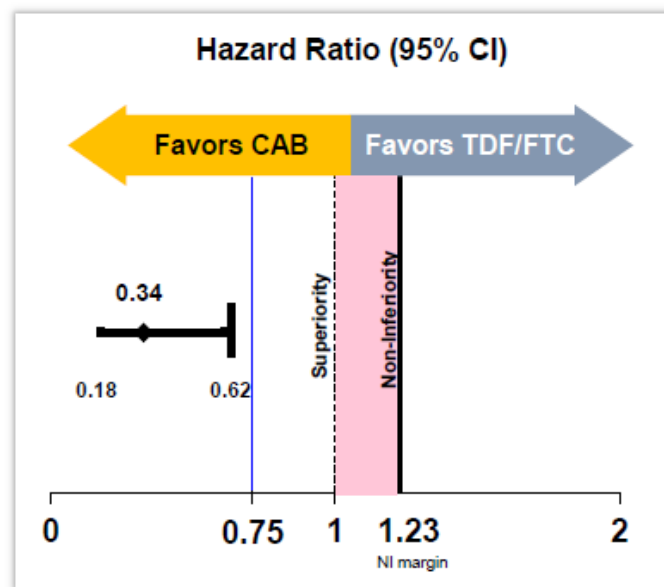
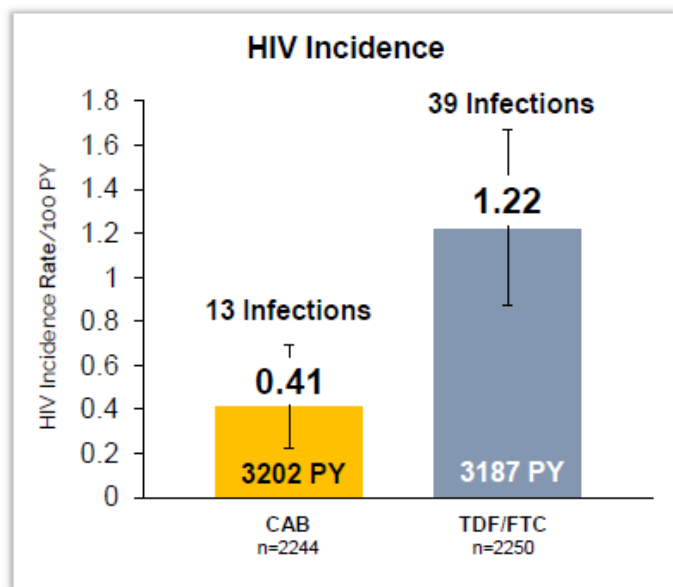


2020年7月9日、ViiV社カンファレンスコール資料より抜粋

## HIV INCIDENCE: CAB VS. TDF/FTC



52 HIV infections in 6389 PY of follow-up  
1.4 (IQR 0.8-1.9) years median per-participant follow-up  
Pooled incidence 0.81 (95%CI 0.61-1.07) per 100 PY



Landovitz RJ et al. AIDS 2020, #OAXLB01

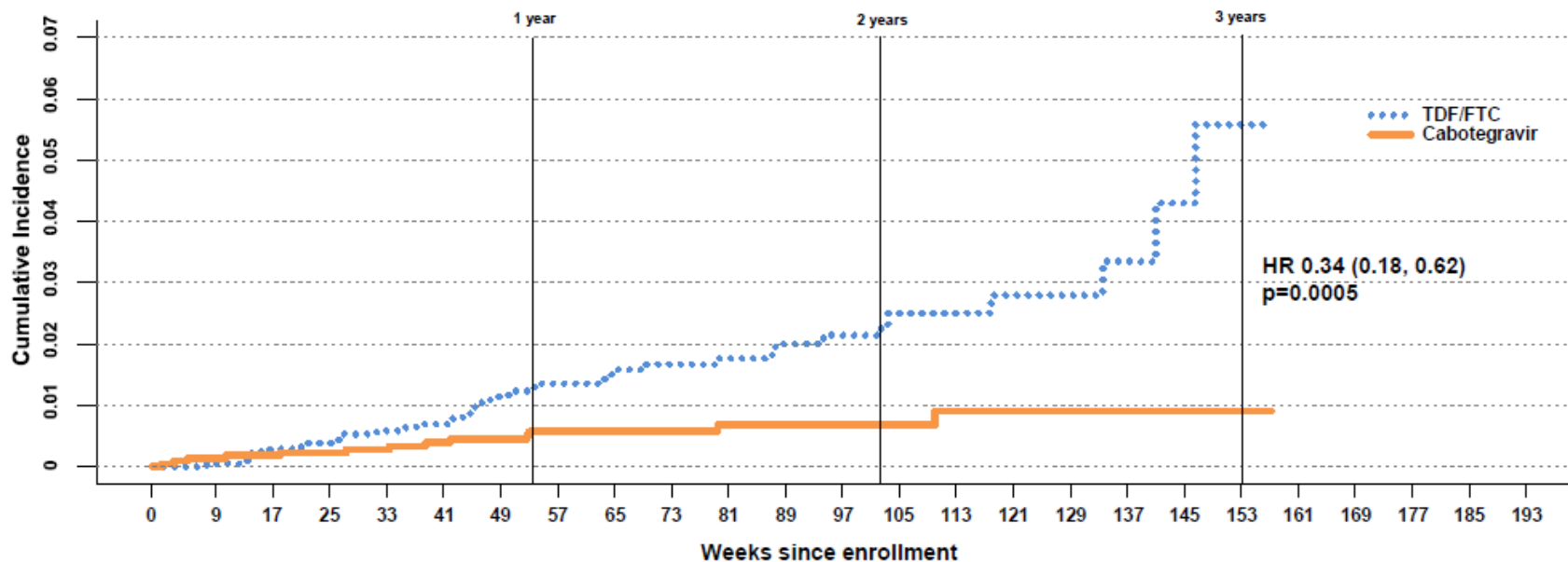
# Cabotegravir 予防試験 有効性データ



2020年7月9日、ViiV社カンファレンスコール資料より抜粋



## HIV INCIDENCE - ITT



### Number at risk

TDF/FTC	2247	2133	2081	2019	1913	1764	1624	1494	1294	1132	965	816	643	516	400	310	230	149	85	33	0	0	0	0	0
Cabotegravir	2243	2138	2092	2032	1921	1776	1632	1488	1312	1119	957	795	644	503	401	318	243	172	111	42	0	0	0	0	0

### Cumulative number of events

TDF/FTC	0	1	6	8	12	14	22	25	27	29	30	32	33	35	35	36	36	37	38	39	0	0	0	0	0
Cabotegravir	0	3	4	5	6	8	9	11	11	11	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	0	0	0	0	0

# 将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。